

What's on, Kyodokodo

2010.10.1
No.32



いのちをまもる
PARTNERS
医療安全全国共同行動

CONTENTS

共同行動からのお知らせ

- 医療安全全国フォーラムのホームページができました
- 全国フォーラムであなたの病院の取り組みをご紹介ください
- マイページから2年目評価の入力をお願いいたします
- 共同行動の後援・共催名義の使用について

フォーラム・セミナー等のご案内

ひとことアドバイス

- 周術期肺塞栓症の防止(目標2)
- 患者・市民の医療参加(目標8)
- 各目標共通

- 成功事例・参考事例を募集しています
→ <http://kyodokodo.jp/> トピックス内
- 質問・提案をお寄せください→ advice@ppscamp.net
- 標準化病院死亡比(HSMR)を算出してお知らせします
→ <http://kyodokodo.jp/hsmr.html>
お問い合わせは toHSMR@ppscamp.net
- 参加登録病院用のバナーができました！
→ [パートナーズ専用ページ/トップページ](#)
- 参加登録方法に関するQ&A → <http://kyodokodo.jp/faq.html>
参加登録事項変更等に関するQ&A
→ [パートナーズ専用ページ/Q&A](#)
- キャンペーンポスターをご利用ください
完成版 → http://kyodokodo.jp/shiryoku_koho.html
基本デザイン → [パートナーズ専用ページ/メニュー](#)

共同行動からのお知らせ

医療安全全国フォーラムー11月26日(金)・27日(土)ーの ホームページができました ➡ <http://forum2010.ppsqsh.net/>

- ・ ホームページからフォーラムの参加登録をお願いいたします。
当日の受け付けも可能ですが、セミナーセッションは定員に達し次第締め切らせていただきますので、お早めにお申し込みください。
- ・ プログラムをホームページで順次ご紹介いたしますので、時々ご覧ください。

全国フォーラムであなたの病院の取り組みをご紹介ください

- ・ ポスター発表をお願いいたします——目標別セッション(26日14:00~15:30)にて発表と質疑
- ・ 発表申し込みの受け付け期限を延長いたします。
10月18日(月)までに発表の申し込みと抄録の送付をお願いいたします。
- ・ 発表申し込みと抄録作成要領は、全国フォーラムのホームページ
<http://forum2010.ppsqsh.net/> をご覧ください。

マイページから2年目評価の入力をお願いいたします

- 貴院の <マイページ> から下記の入力をお願いいたします。
- ・ 参加登録時に入力いただいた「基礎データ」の再入力
 - ・ 登録いただいた行動目標に関する取り組み内容とこれまでの成果の要旨 (目標別)
- お問い合わせは共同行動支援事務局 shienjimu@kyodokodo.jp (電話. 022-717-8196)まで。
よろしくお願ひいたします。

共同行動の後援・共催名義の使用について

フォーラムやセミナー、講習会などで共同行動の後援名義や共催名義をご希望の場合は、共同行動事務局 shienjimu@kyodokodo.jp までお問い合わせください。

*専用ページでもご案内していますのでご覧ください。

[パートナーズ専用ページ](#)→「共同行動の後援・共催名義の使用について」

フォーラム・セミナー等のご案内

全国フォーラム

医療安全全国共同行動 全国フォーラム

日程：11月26日(金)・27日(土)

会場：幕張メッセ国際会議場

<http://www.m-messe.co.jp/access/index.html>

*詳細は <http://forum2010.ppsqsh.net/>

地域フォーラム

医療安全全国共同行動 石川フォーラム

日程：10月3日(日) 14:00～16:00

会場：石川県医師会館4階研修室

主催：石川県医師会

石川県医療安全推進協議会

医療安全全国共同行動

*詳細は <http://kyodokodo.jp/doc/event/101003.pdf>

静岡県「平成22年度医療安全管理シンポジウム」

テーマ：行動目標8 患者・市民の医療参加

〈西部地区〉

日時：10月13日(水) 18:00～20:00

会場：浜松市地域情報センター 1階 ホール

*詳細は <http://kyodokodo.jp/doc/event/101013.pdf>

〈中部地区〉

日時：11月8日(月) 18:00～20:00

会場：静岡県産業経済会館 3階 大会議室

*詳細は <http://kyodokodo.jp/doc/event/101108.pdf>

〈東部地区〉

日時：11月16日(火) 18:00～20:00

会場：サンフロント 9階 ミーティングホール(沼津市)

*詳細は追ってお知らせいたします。

主催 社団法人静岡県病院協会

8目標に関連するフォーラム、セミナー、シンポジウム、講習会

第12回フォーラム「医療の改善活動」全国大会in名古屋(すべての目標に関連)

フォーラムは当日参加も受け付けています。

共同行動の8目標に関する改善活動の報告がありますので、ぜひご参加ください。

会期：10月1日(金)12:50～10月2日(土)17:05

(医療の改善導入推進セミナー 10/1午前中)

会場：名古屋大学 豊田講堂(東山キャンパス)

主催：医療のTQM推進協議会

*詳細は <http://tqmh.jp/INDXTQM.html>

弾性ストッキング・コンダクター講習会(目標2に関連)

〈旭川地区〉

日時：10月16日(土) 12:30～16:30

会場：旭川市民文化会館 大会議室

〈東京地区〉

日時：10月30日(土) 13:00～17:00

会場：杏林大学 大学院講堂

主催：日本静脈学会弾性ストッキング養成委員会

*各講習会の詳細は <http://www.js-phlebology.org/japanese/sscc/index.html>

第5回医療の質・安全学会学術集会(すべての目標に関連)

会期：11月27日(土)～11月28日(日)

会場：幕張メッセ国際会議場 <http://www.m-messe.co.jp/access/index.html>

*詳細は <http://www2.convention.co.jp/jsqsh05/>

ひとことアドバイス

周術期肺塞栓症の予防(目標2)

組織的な取り組みで肺塞栓症死亡ゼロを目指す



県西部浜松医療センター
院長 小林 隆夫

肺塞栓症はこれまでわが国では比較的稀であるとされていたが、生活習慣の欧米化や高齢化社会の到来などに伴い近年急速に増加している。一度発症するとその症状は重篤で、わが国での死亡率は20-30%と高いため、その予防が極めて重要である。

私はここ10年ほど肺塞栓症の予防指針作りに携わってきたが、平成16年に刊行されたわが国の予防ガイドラインは徐々に普及しつつあるとはいえ、病院により対応がまちまちで、予防策が全体に浸透していない病院も多い。平成20年4月に院長に赴任して驚いたことは、現場での危機感が高いにもかかわらず、病院全体での取り組みがなされていないことだった。しかも毎年数例の周術期肺塞栓症が発症し、死亡率は40%と高かった。そこで赴任してすぐ、各診療科の医師や看護師ら多くの医療スタッフでプロジェクトチームを作り、症状などの啓発に努めるとともに、以下のような院内で統一した対応マニュアルの策定に取り組んだ。

1. オンラインリスク評価と予防法決定システムの作成
2. 院内で統一した患者/家族への説明書の作成
3. 下大静脈フィルター留置に関する説明書同意書の作成
4. 新人スタッフに対する院内講演会の実施
5. 弾性ストッキング・間欠的空気圧迫装置の説明と実践
6. 間欠的空気圧迫装置(バッテリー付)運用とバーコードによる中央管理システムの確立
7. 肺塞栓症発症時対応マニュアルの作成と実践

その結果、病院全体でこの取り組みを開始してから現在までの2年間に周術期発症の肺塞栓症事例は1例もなく、非周術期肺塞栓症事例を含めても死亡例はない。兆候を早めにとらえて未然に防いだ事例としては、脳梗塞患者の歩行時と移動時に発症した2例の肺塞栓症も、看護師の迅速な対応により無事救命できた。患者のもつ肺塞栓症リスクを把握し、医療従事者と患者/家族がそのリスクを共有することで、予防のみならず、早期発見・早期治療につながる。われわれは組織的な取り組みがあるかないかで、安全性に大きな差が出ることを実証できた。病院全体における肺塞栓症の取り組みは、各診療科任せにするのではなく、ある意味トップダウンで行うべきであり、病院全体のリスクマネジメントおよびpatient safetyとして極めて有用かつ必須なものと確信する。

当院におけるオンラインリスク評価と予防法決定システムは、静脈血栓塞栓症ガイドブック改訂2版(小林隆夫編集、中外医学社、平成22年4月10日発行)に詳述されている。特別付録としてCD-ROMが付いているので、ぜひ参考にし、活用していただきたい。

患者・市民の医療参加(目標8)

「安全は名前から」を実践するために



栗原市立栗原中央病院
総看護師長 渡邊和子

「患者さんに名前を名乗ってもらうようにいろいろなところにポスターを掲げたが、患者誤認が減らない。どうしたらよいか」との質問をよく受けますが、ポスターを掲げただけでは患者誤認はなりません。ではどのように取り組みればよいのでしょうか。

病院全体として患者誤認防止に取り組むためには、動機付けが必要です。患者誤認のヒヤリ・ハット報告も一つのきっかけになりますし、病院トップが『当院では患者誤認防止に取り組む』という方針を宣言するなどが動機付けになるのではないのでしょうか。

次に名前を名乗ってもらうことを病院全職員で取り組みにするための方策を考え、全職員への周知を図ることが必要です。そして、スタートする期日を決め、ポスターやリーフレットで患者さん、ご家族にも周知する必要があります。職員が患者さん、ご家族にその都度「安全のためにお名前を教えてください」と、あらゆる場面で言い、患者確認を行います。最初は職員もぎこちなく始まりませんが、『安全のために』という理由をしっかりとお話することで、ほとんどの患者さん、ご家族が名前を名乗ってくれるようになります。やり続けることで名前を名乗ることが徹底され、定着するようになってきます。当院のように大学や近隣の病院から医師のサポートがある施設では、その医師にも協力していただく必要があります。誰が説明するかもきちんと決めておくといいでしょう。院内職員でも非常勤、委託業者、長期休暇からの復職者、中途採用者など一度だけの説明や周知だけでは全職員への徹底は難しいと思います。工夫を凝らす必要があります。

さらに、この『安全は名前から』を管理する仕組みを作っておく必要があります。管理をしていかないと、実践を続ける部署とやめてしまう部署が出てきます。リスクマネージャーや医療安全管理委員会などの病院の組織の中に管理するところを決めておきます。実践の評価もこの管理の一つとして行います。患者さん、家族からの聞き取り調査やアンケート調査は実践しやすい評価の方法と言えます。患者さんモニターも良い方法でしょう。職員の意識の継続のためにも、実践状況を調査することも良い方法です。それらの結果は、必ず職員にフィードバックすることが重要です。同時に患者誤認のヒヤリ・ハットの報告件数も職員に開示します。その結果から、自分達の活動の効果等が認識され志気を高める結果にもなります。

これを繰り返していき、職員が徹底していくことが、患者・家族の指導、啓蒙になっていくことになると思います。

各目標共通

一人一人の改善能力を共同行動で高めましょう



株式会社麻生 飯塚病院
副院長 安藤 廣美

共同行動に集い、ブレインストーミングを行うことで自らの組織の医療の質・安全を達成しようとしている皆様へ：

いずれの組織にも製品を実現するためのプロセスがあります。特に医療においては医師をデザインの中心とするプロセスとこれを支援する看護師、検査技師、薬剤師、ME、事務、さらには栄養管理士などの多くのプロセスが連携しています。さらに車を製造するプロセスと異なり、医療では同一のフィールドにプリウス、セルシオ、など多くの製品を製造するプロセスが交錯しています。

プロセスには常に不具合を発生する要素が潜在しています。なぜならプロセスはこれを実行する各人がそれぞれの脳を活性化することによって描いているからです。しかしながら我々人間には長い進化の過程で受け継いできた前頭葉、特に前頭連合野の機能があります。この存在が数々の未熟なプロセスをレビューし、フィードバックし、より質の高い、安全な製品を製造し、より進化した文明を構築することのできるプロセスの追及を可能にしてきました。

再度強調しますが、我々の強みはこの改善する能力を各人が持っていることです。いろんなプロセスの場面、場面で評価し、フィードバックしより良い製品(結果)を造るプロセスをデザインすることができる能力です。パートナーズとして集いブレインストーミングすることはさらにその評価、フィードバック能力を高め、医療の質・安全を保証する標準化プロセスのデザインを可能にします。

標準化プロセスはより質の高い安全な製品(治療)を製造できる状態ですが、停止した状態ではありません。この状態はチームワークを構成する人々が脳を活性化して一つの安定した改善ベクトルを構築し、マグマのように動いている状態です。すなわち、我々は常により良い標準化プロセスを求めて改善のサイクルを回し続ける必要があります。今後とも共同行動で学び、改善能力を高めていきましょう。

*ひとことアドバイスは、[公開ページ/トップページ/メニュー](#) → [「相談室」](#) → [「ひとことアドバイス」](#) からご覧ください。

フォーラム・セミナー等のスケジュール

- 10月1(金)・2日(土) ▶ 第12回フォーラム「医療の改善活動」全国大会in名古屋
- 10月3日(日) ▶ 石川フォーラム
- 10月13日(水) ▶ 静岡「医療安全管理シンポジウム」(西部地区)
- 10月16日(土) ▶ 弾性ストッキング・コンダクター旭川講習会
- 10月30日(土) ▶ 弾性ストッキング・コンダクター東京講習会
- 11月8日(月) ▶ 静岡「医療安全管理シンポジウム」(中部地区)
- 11月16日(火) ▶ 静岡「医療安全管理シンポジウム」(東部地区)
- 11月26日(金)・27日(土) ▶ 全国フォーラム
- 11月27日(土)・28日(日) ▶ 第5回医療の質・安全学会学術集会

★ウェブマガジンWhat's on, Kyodokodoは第1・第3金曜日に配信します
院内にて掲示・回覧・配布等、ご活用ください

医療安全全国共同行動 “いのちをまもるパートナーズ”
ウェブマガジン What's on, Kyodokodo 編集室
E-mail: secretariat@kyodokodo.jp URL: <http://kyodokodo.jp/>